

「する」パラリンピック —被災地支援とイメージ改革—

武藤ゼミA 江原昂平 田邊花奈 矢島遼 吉村平 渡部歩美

目次 CONTENTS

- ① 緒言
- ② ロンドン大会からの考察
- ③ 目的
- ④ 内容
- ⑤ まとめ

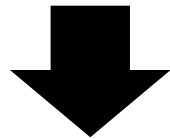


緒言 Introduction

東京2020大会におけるパラリンピック

- 東京2020大会開催基本計画

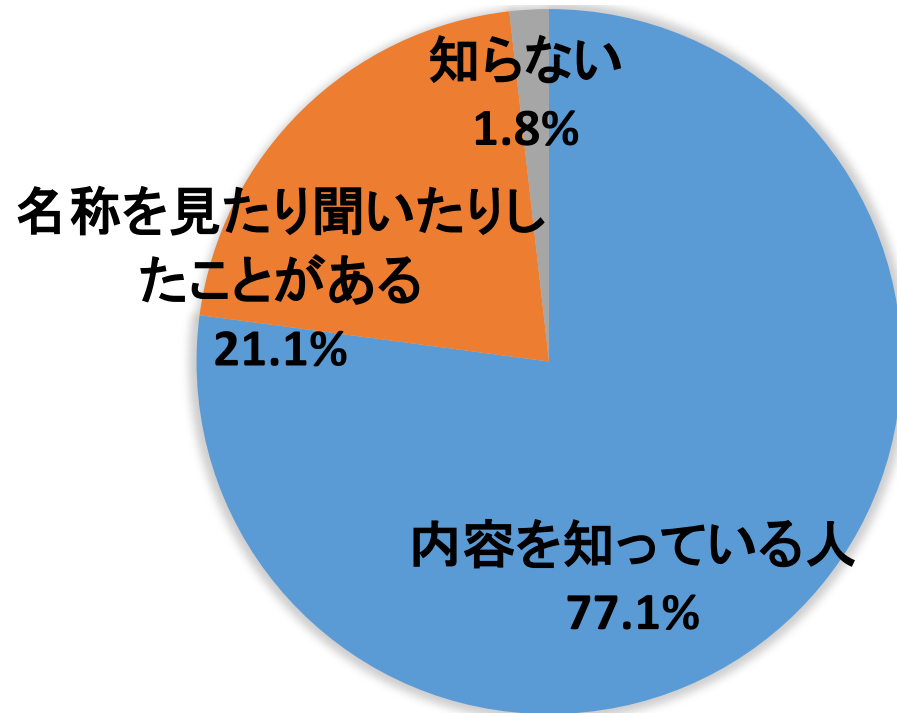
「同一都市として初めて2回目のパラリンピックを開催することから、これを契機として、パラリンピック・ムーブメントのさらなる発展に貢献するものと強く期待されている」



パラリンピックが重視された大会

日本人にとってのパラリンピック

パラリンピック認知度

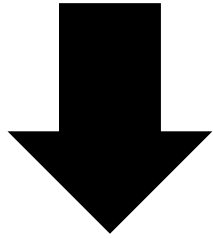


98%の人が
パラリンピックを認知

日本財団パラリンピック研究会(2014)

一方...

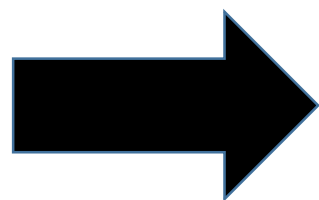
日本の障害者スポーツ直接観戦経験者は **5%未満**



それに比べ他国は **10%以上** 日本は極端に少ない
(⇒ドイツ、アメリカ、韓国、フランス、オーストラリア)

日本人にとってのパラリンピックを

認知



興味

へ変えるきっかけ作りは出来ないか？

東京招致に掲げられたテーマ

「被災地復興」

2020東京大会招致構想では32の復興支援策を明記

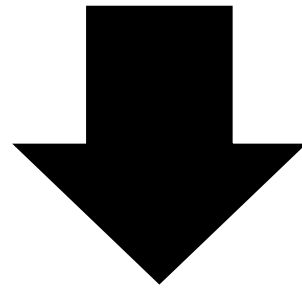
具体的な案

- サッカーの予選で宮城スタジアムを利用する
- 被災者も参加する聖火リレー
- 競技施設の建設や改修に際し被災地の企業を中心に発注
- 各国選手団の事前合宿を東北地方中心に行う
- オリンピック宝くじ

被災地支援

+

障害者スポーツ
観戦者増



障害者スポーツを被災地で！！

ロンドン大会からの考察

②ロンドン大会からの考察

(1) 大成功に終わったロンドンパラリンピック

(2) ロンドンパラリンピックの事前取り組み

(1) 大成功に終わったロンドンパラリンピック

チケット売り上げ枚数

北京パラリンピック

約**180**万枚



ロンドンパラリンピック

約**270**万枚

- ・史上初めてパラリンピックのチケット完売
- ・大会ビジョン「大会の価値を未来へつなごう」
- 2020年の東京オリンピックでいかに応えられるかが重要

(2) ロンドンパラリンピック事前取り組み

- 英国はパラリンピック「発祥の地」
- 健常者と障がい者が一緒にスポーツを楽しめる施設が存在
例：車いすに乗ったまま入ることのできるプール
- 競技施設や町のバリアフリー化

- 効果的なCM広告



- 公式マスコットを町中に置き、
親しみをわかせた



公式マスコット「マンデビル」

目的 Goal

③本提案の目的

- ・日本におけるパラリンピックの認知度は**世界最高水準**
⇒やり方によってはロンドンパラリンピックを上回るのではないか
- ・2020年の事前合宿(予想)、オリンピック宝くじ収益金などによってスポーツ環境も整備されていく
⇒東北でパラリンピックの魅力をアピールし多くの人に足を運んでもらいたい

内容 Suggestion

④本提案の内容

(1) 実施競技

(2) 開催場所

(3) 運営方法

(4) 対象

(5) 開催時期

(1) 実施競技

2020年東京パラリンピック
正式種目

施設設備状況
○

安全面
○

指導者
○

実施競技 確定

○ 車いすバスケットボール

車椅子の試乗体験、車椅子に乗りながらのパスやシュート、選手同士の3 on 3



○ ブラインドサッカー

目隠ししながらのパスやドリブル、選手のプレーを観戦



○ ゴールボール

目隠ししながらのキーパー体験、試合体験



(2) 開催場所

- 被災地3県（宮城県、福島県、岩手県）

⇒2020年東京大会に向けて事前合宿の会場として練習場などが整備されていくため**施設面の充実**が図れる。

⇒福島県の肥満傾向児の割合は、全国平均（8.1%）より1.8倍の15.1%である。原発の影響で屋外での運動が制限されていたことが考えられる。2020年東京大会で**運動環境が整備されると状況が改善されると予想**できる。

(3) 運営方法

- 運営主体

学生ボランティア

→障がい者スポーツに取り組む大学(筑波大学、日本体育大学等)、体育系大学、開催地近辺の学生

社会人ボランティア

→日本障がい者スポーツ協会協賛企業、障がい者スポーツを支援している企業

(4) 対象


- 訪日外国人を含めた世代、性別、人種を問わず日本にいる人を想定する。



(5) 開催時期

- パラリンピック開催年の通年
- 学校や会社が休みの土・日曜が基本
- 大学の長期休暇期間も積極的に開催
- オリンピック・パラリンピック開催中も開催

オリンピック・パラリンピック開催中も実施できるのか？

- 
- ボランティア不足??
 - 観客も来ない??
 - 育成、地元大学の協力
⇒ 東北福祉大学など
 - 福島と東京は近い
⇒ 体験した後に東京へ、連動させる
⇒ オフィシャルパートナーのANA,JALを利用

(6) 広報

- 運営ボランティアを通じてSNSで広める。
⇒ Facebook、Twitterなど
- 専用のFacebookページを作り、大学などの教育機関にポスター掲示

まとめ Conclusion

企画が行われれば...



ソフト面でのレガシー

- パラリンピックへの関心度向上
- パラリンピックが障害者ではなくアスリートの大会であること、障害者スポーツの魅力を理解する



ハード面でのレガシー

- 日本に欠如しているパラリンピック会場の整備
- 後々東北でのパラリンピック開催につながる

参考文献

- Tokyo2020

<https://tokyo2020.jp/jp/plan/candidature/index.html>

- 日本経済新聞

http://www.nikkei.com/article/DGXLASDG23H5O_T20C15A1CR0000/

- パラリンピック協会

<http://para.tokyo/2014/11/survey.html>